

## 一般送配電事業者における中立性・信頼性確保のための対応に関する 経済産業省への報告書の提出について

2023年3月17日  
北陸電力送配電株式会社

当社は、本日、経済産業省からの指示文書に基づき、一般送配電事業者における中立性・信頼性確保のための対応に関する当社の進捗状況等について、同省に報告しましたのでお知らせします。

当社は、経済産業省から、一般送配電事業者における中立性・信頼性確保のための対応に係る指示文書を受領しました。（2月10日お知らせ済み）

これを受け、情報システムのアクセスログの定期的な解析など法令等遵守に必要な取り組みや、法令等遵守の確実化のための組織・体制、仕組みの整備について、当社の取り組み内容やその進捗状況等を、本日、同省に報告しました。

当社は、一般送配電事業者として、今回報告した中立性・信頼性確保のための取り組みを着実に進め、社長を委員長とする法令遵守委員会のもと、法令等遵守の徹底に努めてまいります。

以上

別紙：経済産業省への報告概要

## 経済産業省への報告概要

当社は、現状の取組みに加え、以下の取組みを強化することにより、電気事業法上の行為規制はもちろん、情報の適正管理、個人情報保護法の遵守を含めた法令等遵守のために全社を挙げて不断の取組みを続け、万全を期してまいります。

対策区分	主な取組み
システム	<p>◆<b>営業システム等の物理的分割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非公開情報の管理の用に供するシステムおよびお客さまの個人情報を扱うシステムのうち、アクセス制限などの論理的分割により北陸電力と共用しているシステムの物理的分割の実施</li> </ul> <p>◆<b>チェック体制・仕組みの強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム毎に当該業務を実施する所属の利用者のみができるようにアクセス権を設定しているが、そのアクセス権について、確認頻度を高める</li> <li>・ 生体認証の将来的な導入を含めた更なる強化を検討</li> <li>・ システムの仕様や設定の誤りにより、アクセス権のある人以外がシステムにアクセスしていないことを確認するため、アクセスログ（記録）を定期的に解析</li> </ul>
組織・体制、 仕組み	<p>◆<b>組織体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「3線ディフェンス（3 lines of defense）」※をより意識した組織体制への見直しおよび各ラインの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1線（3線ディフェンスにおける第1の防御線） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務執行箇所（業務主管部および事業所）が、今般の不適切な情報管理等の事案を踏まえたセルフチェックを実施</li> <li>・ 情報システム部門が、リスク評価項目に行為規制、情報の適正管理および個人情報保護に関する項目を追加し、リスク評価および対策についてセルフチェックを実施</li> </ul> </li> <li>第2線（第2の防御線） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織上のコンプライアンス推進部門の役割・機能を明確化したうえで、システム総点検および再発防止策の進捗確認、フォロー等を実施</li> <li>・ 従来の行為規制に加え、情報の適正管理、個人情報保護等の観点を強化</li> </ul> </li> <li>第3線（第3の防衛線） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織上の内部監査部門の役割・機能を明確化したうえで、従来の行為規制に加え、情報の適正管理、個人情報保護等の観点で重点的な内部監査を実施</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>◆<b>外部専門家によるチェック体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社長を委員長とする法令遵守委員会に外部専門家（社外弁護士）を招き、専門的かつ多角的視点からの検証実施</li> <li>・ システム分野に関する内部監査について、外部専門家によるチェックの実施を検討</li> </ul>

※ 企業組織において、3つのディフェンスライン（業務執行箇所/コンプライアンス推進部門/内部監査部門）によって複層的にリスク管理を行う体制のこと。3つのラインそれぞれの役割がバランスよく配置され、その実効性を高めることが重要とされている。